

# ツキノワグマ出没対応マニュアル

## 《クマ被害にあわないために》

### ～青森県～

ツキノワグマは本来、臆病（おくびょう）でおとなしい動物ですが、突然出会ったりすると人を攻撃することがあります。このマニュアルでは、クマ被害にあわないための工夫やクマに出会わないための注意事項を紹介します。



和名：ニホンツキノワグマ  
体長：110cm～150cm  
体重：80kg～120kg  
特徴：概ね黒色で胸に白色V字の「月の輪」があるが、まれにない個体もある

平成30年8月  
青森県環境生活部自然保護課

## I. ツキノワグマの分布

### ◆ 分布域

ツキノワグマは、中型のクマ科哺乳類で東アジア、南アジアに広く分布しています。

日本では本州・四国の山地帯に分布していますが、生息地は西日本を中心に分断・孤立化が進んでいます。

なお、環境省のレッドデータブックでは、紀伊半島、東中国地域、西中国地域、四国山地、下北半島、九州の6地域の個体群が絶滅の恐れのある地域個体群（LP）とされていますが、九州のツキノワグマは、最後の確実な捕獲が1957年であり、既に50年以上が経過していることから、絶滅しているものと考えられ、環境省のレッドリストから削除されました。

### ◆ 本県の分布域

県内のツキノワグマの分布域は、下北半島地域のほぼ全域、八甲田山系を中心とする地域及び白神山地・岩木山地の3つに大別されます。しかし、近年の出没情報によると、青森市や八戸市など従来出没が見られなかった都市周辺地域や津軽半島などにも拡大する傾向にあります。

## 🌲 II. クマの生態・運動能力等

### クマの一年

春

冬眠から目覚めると、樹木の新芽・山菜などを食べ、よく動き回ります（6月頃に交尾期）

夏

ハチミツや昆虫類（ハチ、アリ）などを食べます

冬

12月頃～4月頃まで冬眠します（2月頃出産 1～3頭）

秋

ドングリ、クリ、ヤマブドウなどの木の実をたくさん食べます



### ◆ 五感

嗅覚：犬並みに鋭い

視覚：目が悪く、接近しないと気づかない

聴覚：鋭いが、低音部の聴力が弱い

味覚：甘いものが大好物（腐肉、オイルなどにも興味を示す）

触覚：触毛感覚は鈍感

### ◆ 身体能力

登坂力：鋭い爪を立て高い木に登る

走力：人間よりずっと速い

柔軟性：非常に高い（狭い空間を通過する）

噛み切る力：強い（アゴが強く、犬歯、臼歯も発達している）

引く力：500kgくらいの物は動かす

ジャンプ力：垂直跳びが苦手

## 🌲 Ⅲ. 被害にあわないために

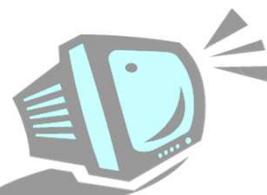
### 1 人身被害の事故防止

#### (1) クマに出会わないために (防除策)

被害にあわないためには、まずクマに出会わないようにすることが一番重要です。

##### ◆ クマ出没情報に気をつける

山に入る前には、新聞やテレビ、あるいは地元の人に聞いてクマの出没情報に気をつけ、危険な場所には近づかないことが一番です。

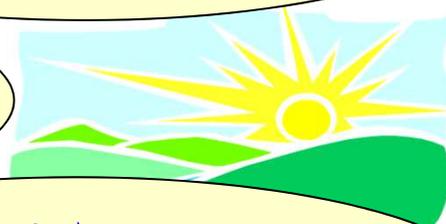


##### ◆ 音を出しながら歩きましょう

山に入るときはなるべく複数で、しゃべりながら歩く、クマよけの鈴をつける、手をたたく、ラジオを鳴らすなどクマに人間の存在を知らせるのも効果的です。

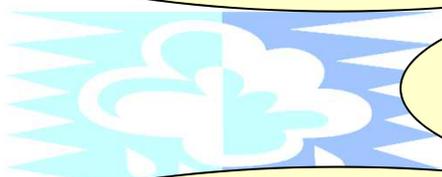
##### ◆ 日の出、日没前後はなるべく山に入らない

クマが活発に活動する時間帯です。(人身事故は午前中に多く発生しています。)



##### ◆ 水流の激しい沢や風雨の強い日は要注意

お互い物音が聞こえず、バツタリ出会う可能性があります。



##### ◆ クマの足跡や食べ跡などの痕跡を見つけたら気をつける

近くにクマがいる可能性があります。すぐ引き返しましょう。



##### ◆ 山菜採りなどに夢中にならない

すぐそばで、クマも夢中で山菜を食べているかもしれません。

- ※ ① 入山者は、残飯・生ゴミを捨てないようにしましょう。(味をしめたクマがエサを求めて里におりてきます。)
- ② クマの生息域に近い地域では、家庭ゴミの管理や農作物残渣(処分野菜等)の処理に注意しましょう。
- ③ 突然の遭遇に対処するため、入山の際にはクマ撃退スプレー、ナタ、棒(傘等)などを携帯するようにしましょう。

## (2) クマに出会ってしまったら (対処法)

もし、クマに遭遇してしまったときは、とにかく落ち着いて状況判断をしましょう。

### ◆ 遠くにクマを見つけたら

静かにその場を立ち去りましょう。

### ◆ クマがこちらに気づいたら

静かにしていれば、ほとんどの場合、クマは立ち去ります。

### ◆ クマがこちらに近づいてきたら

クマの動きに注意しながら、ゆっくりと後退してください。

### ◆ 走って逃げたり、大声、石投げなどは危険

クマを刺激しないことが大切です。クマの足は人間よりずっと速く、逃げるものを追いかける習性があるので、至近距離で出会った場合もすぐ逃げない方がよいとされています。

### ◆ 子グマには決して近づかない

子グマのそばには、必ず親グマがいます。親グマは子グマを守ろうとするので、非常に危険です。決して近づいてはいけません。

## 2 農林業被害の防止

### (1) これまでに実施されている防除方法

＜全国的に行われている主な対策例と効果＞

- ◆ **有害鳥獣捕獲（銃器又は檻）**  
被害に最も即効性があります。（一方で獲り過ぎによる絶滅が懸念）  
※捕獲には狩猟免許が必要です。
- ◆ **有刺鉄線**  
最も一般的な方法です。（初期投資と維持管理が必要）
- ◆ **ネット**  
リンゴ園などで効果があります。（初期投資が必要）
- ◆ **トタン敷き**  
畑への侵入防止効果があります。（古いトタンを使えば安価）
- ◆ **ラジオ**  
簡便な方法です。（効果は低い）
- ◆ **忌避音発生装置**  
一定の効果はあります。（犬の鳴き声、爆竹音、銃声等を併用）
- ◆ **釘板法**  
クマの足を傷つけて退散させます。（広いエリアには向かず、人間にも危険）
- ◆ **テープ巻き（樹木の皮剥ぎ対策）**  
樹木の幹にビニールテープや縄などを巻くだけの簡便な方法です。（他県では効果があると報告）

### (2) 今後期待される有効な防除方法

- ◆ **電気さく**  
電気さくは、クマにも十分効果が期待でき、近年では比較的安価なものが開発されています。  
なお、電気さくを設置する場合は、危険である旨の表示をするなど、電気事業法の規定に基づく適切な感電防止対策を講じる必要があります。

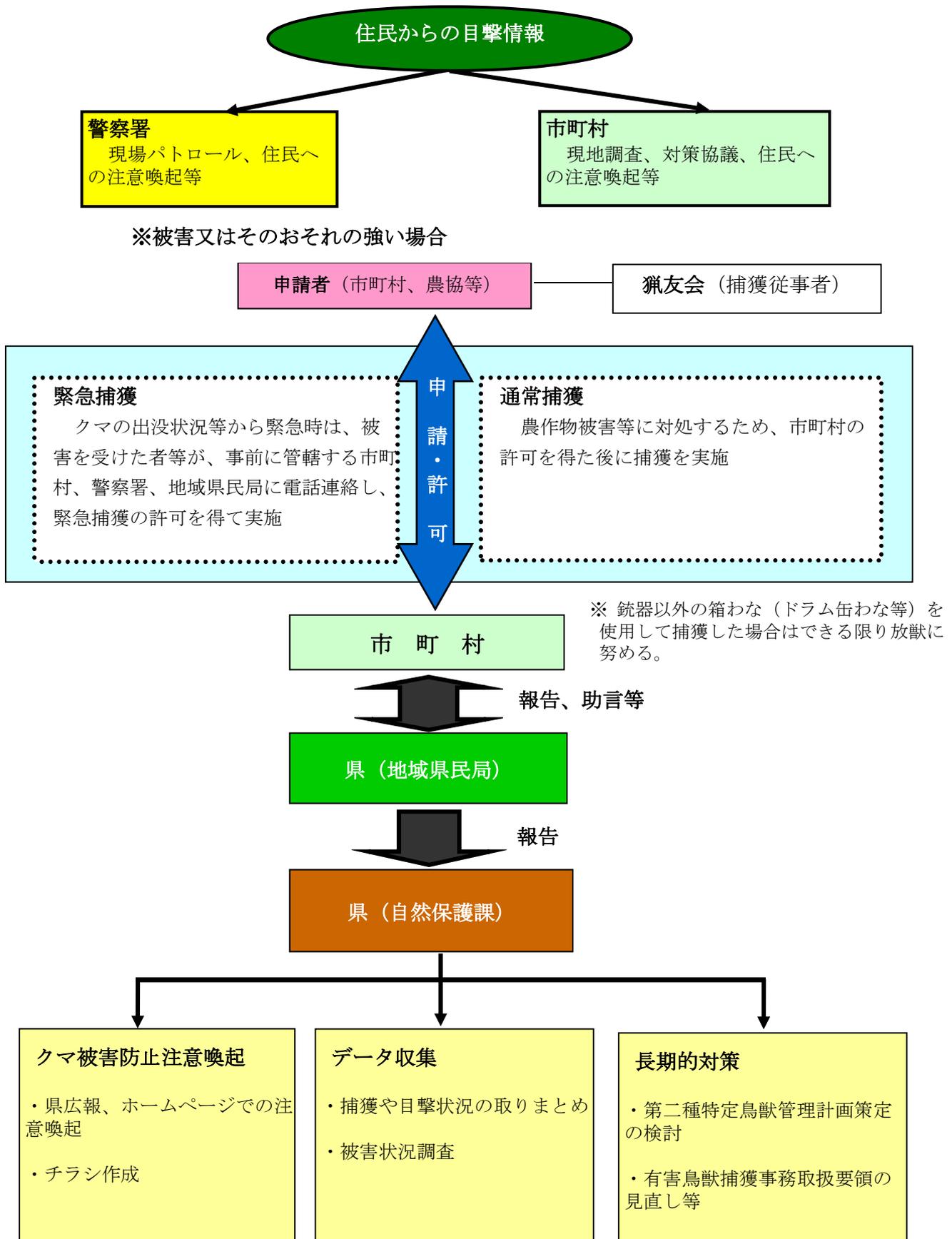


写真は弘前市岩木地区のトウモロコシ畑に設置した電気柵。

- ◆ **緩衝帯整備**  
畑周辺の藪の刈り払い、森林の間伐・枝打ちなどによりクマの身を隠しにくくし、里への侵入を防ぎます。
- ◆ **ベアドック（クマ対策犬）**  
クマの行動矯正と被害予防に効果が期待できます。（北米で活躍、国内では長野県で導入されています）

### 3 出没後の対応

住民などからクマの目撃情報や被害情報等が寄せられた場合、県、市町村等は以下の対応フローにより対策を実施します。



## ツキノワグマとブナの実豊凶との関係(県内)

年次	ブナ豊凶	目撃情報	有害捕獲頭数	人身事故		備考
				件数	被害者数	
H4	豊作	11	15	3	4	
H5	凶作	101	29	1	1	
H6	凶作	93	34	1	1	
H7	豊作	35	22	2	2	
H8	大凶作	174	60	3	3	
H9	凶作	51	24	1	1	
H10	凶作	95	19	3	3	
H11	大凶作	167	57	3	3	
H12	豊作	76	32	1	1	
H13	大凶作	151	90	5	5	
H14	凶作	76	16	0	0	
H15	並作	116	37	1	1	
H16	大凶作	98	42	1	1	
H17	並作	46	34	4	4	※全国的には豊作
H18	凶作	301	109	8	8	
H19	大凶作	168	53	1	1	
H20	凶作	114	47	2	2	
H21	凶作	186	64	5	5	
H22	大凶作	134	66	4	4	
H23	大凶作	141	54	5	5	
H24	大凶作	306	115	2	2	
H25	並作	223	78	2	3	
H26	大凶作	277	71	3	3	
H27	並作	239	86	2	2	
H28	大凶作	502	154	0	0	
H29	凶作	419	259	8	9	

※ブナ豊凶の状況は東北森林管理局調べ、目撃情報及び人身事故の状況は青森県警察本部調べ

### これまでのデータから解ったこと

#### 1 ブナ等堅果類が豊作の翌年は出没情報や被害が増加

豊作の年は母グマの栄養状態が良く、冬眠中に出産する個体が多くなります。このことから豊作の翌年は、子連れの母グマが子グマを養うために、より多くのエサを求めて行動範囲を広げるので、出没が多くなると考えられます。

#### 2 ブナ等堅果類の豊作は5～6年のサイクルで発生

豊作・凶作等は、地域によって異なる場合があります。

※ブナの実の豊凶に関する情報（東北森林管理局HP）  
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/sidou/buna.html>

## 被害の現状

### 1 人身被害の状況

年次	被害者数	被害の程度	被害場所	被害時間帯
H20	2名	重傷 2名	山中 2名	午前 1名 午後 1名
H21	5名	死亡 1名 軽傷 4名	山中 2名 林道 2名 畑 1名	午後 3名 夜間 1名 不明 1名
H22	4名	重傷 2名 軽傷 2名	山中 3名 登山道 1名	午前 3名 午後 1名
H23	5名	重傷 2名 軽傷 3名	山中 2名 林道 1名 畑 2名	午前 5名
H24	2名	軽傷 2名	山中 2名	午前 1名 午後 1名
H25	3名	重傷 2名 軽傷 1名	山中 3名	午後 3名
H26	3名	重傷 1名 軽傷 2名	山中 3名	午前 1名 午後 2名
H27	2名	重傷 1名 軽傷 1名	山中 2名	午前 2名
H29	9名	重傷 2名 軽傷 7名	山中 5名 市街地 3名 敷地内 1名	午前 4名 午後 5名

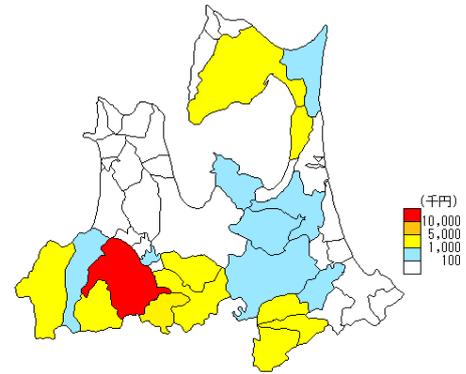
※H28は人身被害なし

#### 県内で発生した主な事例

- ◆平成20年夏：弘前市で畑造成のための道路開設作業中、いきなり正面から襲われ負傷した。
- ◆平成21年春：むつ市の林道で写真撮影後、車に戻る途中襲われ負傷した。
- ◆平成21年夏：田子町で夜間、自宅に隣接するトウモロコシ畑で物音がするので様子を見に行ったところ、クマと遭遇し負傷した。
- ◆平成22年秋：平川市碓ヶ関でキノコを採るため自宅付近の山中に入ったところ、突然クマに襲われ負傷した。
- ◆平成23年秋：弘前市に所有しているクリ畑でクリ拾いをしていたところ、クマに襲われ負傷した。
- ◆平成24年春：弘前市の山中でタケノコ採りをしていたところ、子連れのクマに襲われ負傷した。
- ◆平成25年秋：田子町の山中でキノコ採りをしていたところ、クマに襲われ負傷した。
- ◆平成25年秋：鱒ヶ沢町の山中で2名による巡視活動中、クマに襲われ負傷した。
- ◆平成26年夏：新郷村の山中で川釣りをしていたところ、クマに襲われ負傷した。
- ◆平成27年秋：西目屋村の山中でキノコ採りをしていたところ、クマに襲われ負傷した。
- ◆平成29年春：田子町の山中で山菜採りをしていたところ、クマに襲われ負傷した。

## 2 農作物等被害の状況

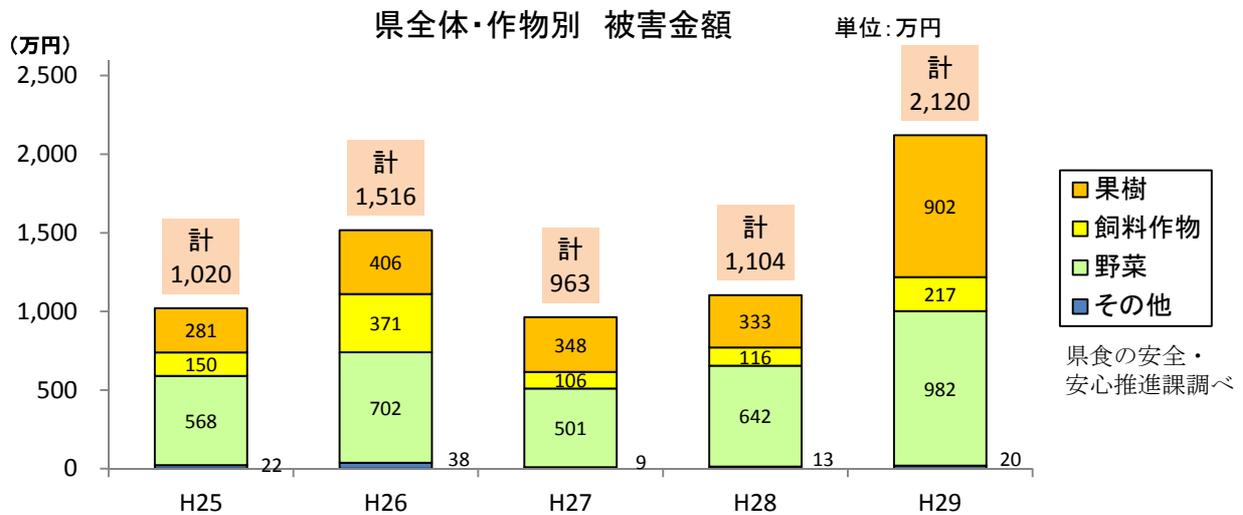
県内の25市町村で被害が発生しており、特に弘前市での被害が目立っています。



H25～H29の被害額の合計

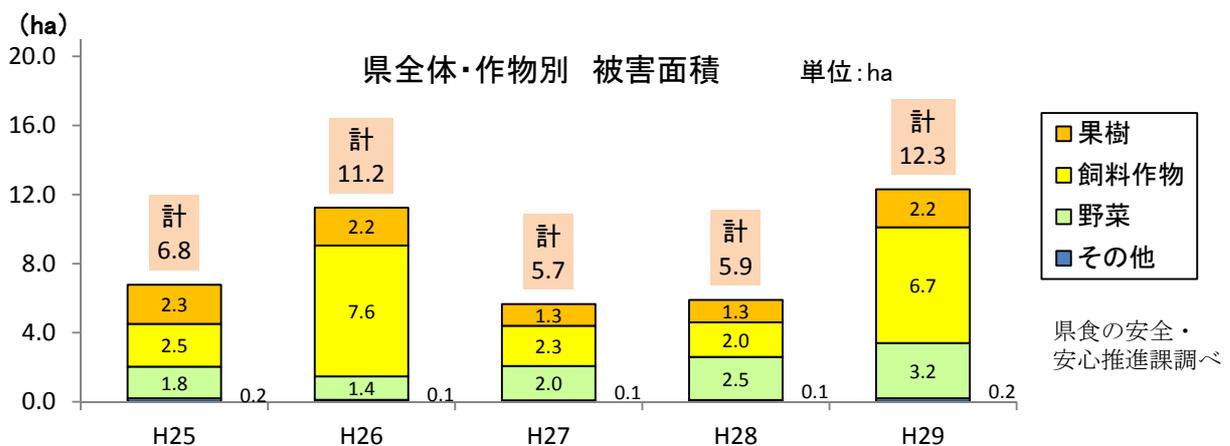
### (1) 被害金額

平成25年度以降は、被害金額が1,600万円以下で推移していましたが、平成29年度は前年比192%の約2,200万円と増加しました。作物別では、りんご、スイカ、デントコーンなどの被害が多くなっています。



### (2) 被害面積

平成27年度以降は、被害面積が約6haで推移していましたが、平成29年度は前年比208%の12.3haと増加しました。作物別では、飼料作物及び野菜の被害比率が大きくなっています。

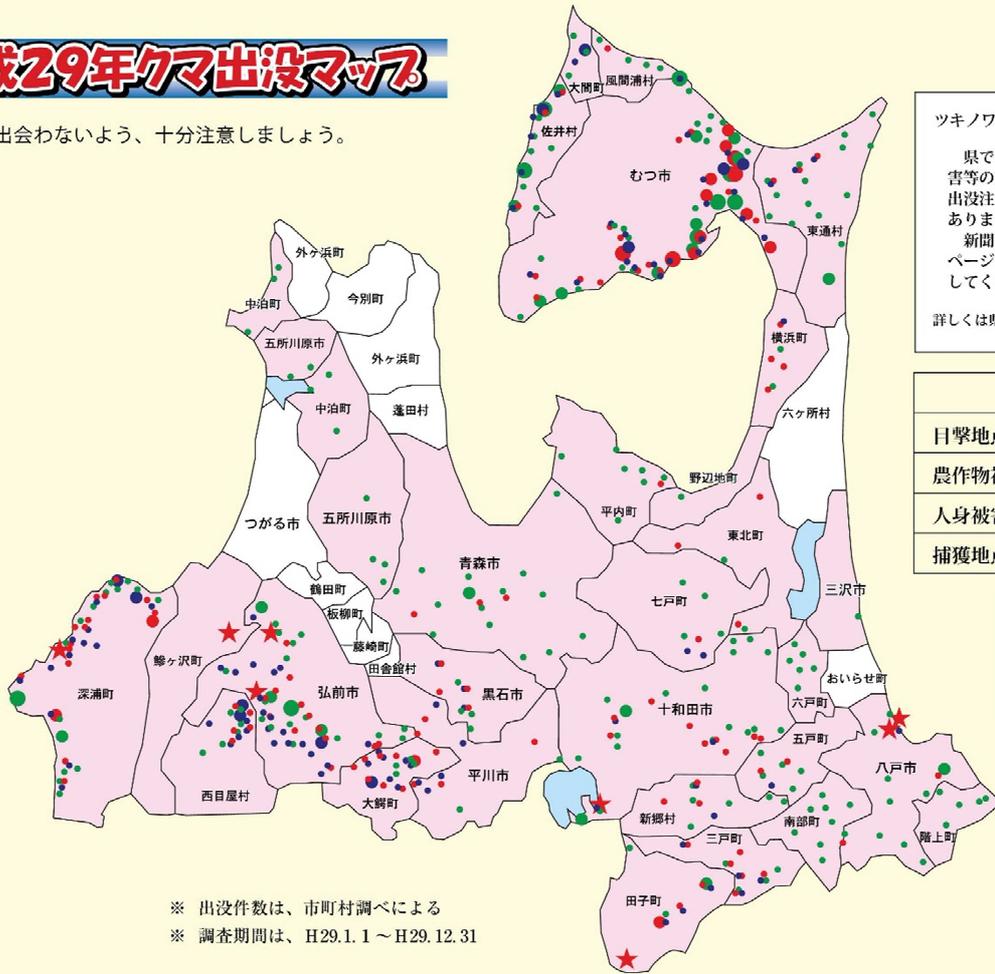


### (3) その他

近年、森林への被害として、下北地域の国有林や民有林の一部地域でスギを中心にクマによる皮剥ぎ被害が発生しています。

# 平成29年クマ出没マップ

※ クマに出会わないよう、十分注意しましょう。



ツキノワグマ出没注意報・警報について

県では、クマの出没による人身被害等の危険性が高まっている場合に、出没注意報や警報を発表することがあります。  
新聞・ラジオ・テレビや県ホームページなどで情報を確認するようにしてください。

詳しくは県庁HP [青森県 クマ](#)

## 凡 例

目撃地点	●
農作物被害発生地点	●
人身被害発生地点	★
捕獲地点	●

1件～4件	○
5件～9件	○
10件以上	○

※ 出没件数は、市町村調べによる  
※ 調査期間は、H29.1.1～H29.12.31

## クマに関する相談・連絡先

クマを目撃したときや被害でお困りの際は、最寄りの市町村、警察署へ、その他のお問い合わせについては、下記の県民局又は自然保護課に御連絡ください。

機 関 名	住 所	電話番号
東青地域県民局地域農林水産部 (林業振興課)	〒030-0861 青森市長島2丁目10-3 青森フコク生命ビル6階	017-734-9962
中南地域県民局地域農林水産部 (林業振興課)	〒036-8345 弘前市大字蔵主町4	0172-33-3857
三八地域県民局地域農林水産部 (林業振興課)	〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田7	0178-23-3595
西北地域県民局地域農林水産部 (林業振興課)	〒038-2761 西津軽郡鯨ヶ沢町大字舞戸町 字鳴戸384-37	0173-72-6613
上北地域県民局地域農林水産部 (林業振興課)	〒034-0093 十和田市西十二番町20-12	0176-24-3379
下北地域県民局地域農林水産部 (林業振興課)	〒035-0073 むつ市中央一丁目1-8	0175-23-6855
環境生活部自然保護課	〒030-8570 青森市長島一丁目1-1	017-734-9257